

春を告げる所願成就の大祭

平林寺半僧坊大祭が開かれる毎年4月17日は、多くの人で賑わい、華やかな楽師・稚児・法類のお練りは、新座の春の風物詩となっています。門前の露天商ばかりに目がいってしまうかもしれませんが、展示を通じて、改めて「半僧坊」を知ってみませんか？ 今回の企画展示では、半僧坊信仰の歴史、平林寺への来歴、平林寺や檀家に伝わる資料を特別にお借りして展示します。

展示資料紹介

「半僧坊」ってなに？

正式には「半僧坊大権現」と言い、鼻が高く、眼光鋭い老人の姿とされます。厄除け・商売繁盛等の御利益があるとされ、平林寺には明治時代に勧請されて、大祭では感応殿で半僧坊への祈禱が行われます。

半僧坊に願いを込めて

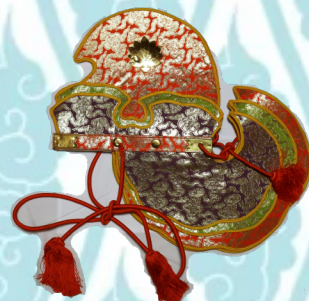
半僧坊の御利益に預かろうと、県内外の様々な人が額を奉納して祈願しました。



奉献額「府下吉祥寺田中與七奉納」

華やかに、厳かに

大祭では、鳥兜をかぶり、盛装をした楽師が、雅楽を演奏しながら行列を先導します。今回はその装束や楽器も特別に展示いたします。「お寺で雅楽」、改めて考えると不思議な光景です。



とりかぶと
楽師装束・鳥兜



りょうどう
楽師装束・裃

* 大祭で使用する期間は展示を休止します。

* 展示室で企画展示を実施しますので、考古資料の展示を一部休止いたします。ご了承ください。